

第2 30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	12	-3	1.00	92	-22	1.00
	30日死者	2	+1	0.17	19	+1	0.21
	30日以内死者	14	-2	1.17	111	-21	1.21

○ 全国

死者	区分	10月中		10月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	273	-40	1.00	2,261	-270	1.00
	30日死者	57	-2	0.21	447	-114	0.20
	30日以内死者	330	-42	1.21	2,708	-384	1.20

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は19人（+1人）、「24時間死者」は92人（-22人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は111人（-21人）であり、「24時間死者」の1.21倍となっている。

(3) 特徴（30日死者の構成率）

○ 地区別 阪神9人（47.4%）、神戸5人（26.3%）、西播3人（15.8%）、東播1人（5.3%）、高速1人（5.3%）の順で発生している。

○ 状態別 歩行中7人（36.8%）、自転車乗用中5人（26.3%）、自動車乗車中4人（21.1%）、自動二輪乗車中3人（15.8%）の順で発生している。

○ 年齢層別 65歳以上が11人（57.9%）、25～64歳が4人（21.1%）、16～24歳が3人（15.8%）、15歳以下が1人（5.3%）の順で発生している。

○ 経過日数別 10日以内の死亡が13人（68.4%）となっている。

○ 損傷部位別 頭部の損傷が16人で、84.2%となっている。